

別記様式第11（第8条関係）

日ア第2022-07-08号
令和4年 7月 8日

独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長 殿

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
申請者名 会長 国吉 誠

令和4年度スポーツ振興くじ助成金に係る助成事業状況報告書

標記助成金について、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金交付要綱（平成15年度要綱第18号）第10条の規定により、関係資料を添えて報告します。

令和4年度タレント発掘・一貫指導育成事業 実施報告書 【スポーツ振興くじ助成事業】

標記に関し、タレント発掘・一貫指導育成事業（「JOCアスリートプログラム」又は「競技者育成プログラム」等に基づいて、優れた素質を有する競技者を発掘し、定期的・継続的に育成するための事業）を実施したので報告します。

1. 事業名 WGに向けた練習、(女子U17,15)練習、男子合同練習、USA強化キャンプ派遣

2. 事業内容

(1) 事業の実施場所(大会参加にあたっては国・都市名を記載) USA デトロイト ミシガン大学

(2) 期間・日程 2022年6月17日～2022年6月22日 (6)日間

月日(曜)	場 所	内 容
6/17 (金)		羽田発、現地着
6/18 (土)	ミシガン大学	練習
6/19 (日)		強化試合 (予選)
6/20 (月)		強化試合 (決勝)
6/21 (火)		出国 (機内泊)
6/22 (水)		羽田着

(3) 目的

本大会に参加してアメリカチームを含む世界各国チームと対戦する経験が、参加選手のその後の競技力向上に大いに寄与する。

国内において、フラッグフットボールがメジャーな競技として定着する。

(4) 成果

参加国 男子U15：日本選抜、米国代表 Stars、米国代表 Stripes、米国 UA Elite 15U

男子U17：日本選抜、米国代表、パナマ代表、米国 UA Elite 17U

女子 U15：日本選抜、米国代表、パナマ代表、College Bourget(カナダ)

女子 U17：日本選抜、米国代表、College Bourget(カナダ)、米国 The Braves

結果 U15 男女、U17 男女の計 4 カテゴリで出場している日本は、4 チームすべて決勝で米国代表に敗れ、準優勝となる。

	【U-15 女子】	【U-15 男子】	【U17 女子】	【U17 男子】
優勝	アメリカ代表	アメリカ代表	アメリカ代表	アメリカ代表
準優勝	日本選抜	日本選抜	日本選抜	日本選抜
3 位	パナマ代表	アメリカ UA Elite	アメリカ The Braves	アメリカ UA Elite
4 位	カナダ College Bourget	---	カナダ College Bourget	パナマ代表

(弊協会のサイト)

最終日結果：<https://americanfootball.jp/flag/7686>

決勝戦の動画：<https://americanfootball.jp/flag/7694>

総 評 コロナ禍に多くの未成年選手が渡航することになったが、主催者の USA FOOTBALL による入念な準備により立派な大会となった。日本は 4 チーム全てが準優勝というすばらしい成績を残し、全員が無事に帰国できた。

日本選手は個々のフィジカルでは劣るものの、プレイの一つ一つの精度や試合の展開、反則を犯さない規律に満ちた姿勢など「日本流の戦い方」を披露し、他国のコーチ・選手のみならず、主催者からも感嘆と共に多くの称賛を寄せられたことを付け加えます。

U17 女子では、QB 磐田千紘選手が最優秀選手に選ばれました。

異文化交流を含めて、すべての選手が心から大会を楽しみ、多くの経験を積むことが出来たと確信している。

(5) 課 題

フラグフットボールをメジャーなものとして、IF もオリンピックの競技種目採択を標榜しており、そのため IF と連携して USA は JFIC を継続して開催する予定であるが、U17、15 という学生が中心の選手を派遣するには、開催日の調整が最大の課題である。開催日時により参加国の数の変動が大きいと考える。

また、国内では、学校のフラグフットボール部も多いとは言えず、「国際大会へ出場」などのインセンティブにより、クラブ数を増やし競技人口拡大を図る。

収 支 計 算 書

タレント発掘・ 一貫指導育成事業No	13, 18, 35～73
団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 区 分	将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成
助成対象事業細目	タレント発掘・一貫指導育成
事 業 名	WGに向東西合同練習、女子U17, U15練習、男子シニア、U17, U15合同練習、(6月まで)

(収入) (単位：円)

科 目	合計
くじ助成金収入	0
協賛金収入	0
入場料収入	0
参加料収入	9,042,131
補助金・委託金等収入	0
その他収入	0
自己負担金	12,384,916
合 計	21,427,047

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	1,106,435	636,464	636,464	0	469,971
旅 費	2,306,286	921,869	921,869	0	1,384,417
渡 航 費	11,552,200	11,552,200	11,552,200	0	0
滞 在 費	5,393,916	3,023,862	3,023,862	0	2,370,054
借 料 及 び 損 料	471,850	133,400	133,400	0	338,450
消 耗 品 費	103,935	0	0	0	103,935
ス ポ ー ツ 用 具 費	510,245	0	0	0	510,245
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	2,520	0	0	0	2,520
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	44,770	13,706	13,706	0	31,064
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0
保 険 料	85,890	0	0	0	85,890
コ ロ ナ 対 策 経 費	0	0	0	0	0
そ の 他	△ 151,000	0	0	0	△ 151,000
合 計	21,427,047	16,281,501	16,281,501	0	5,145,546

収 支 計 算 書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 事 業 細 目 名	スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ）
事 業 名	アメリカンフットボールアカデミー

(収入)

(単位：円)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額
くじ助成金収入	303,000	△ 303,000	0
協賛金収入	0	0	0
入場料収入	0	0	0
参加料収入	400,000	△ 303,000	97,000
補助金・委託金等収入	0	0	0
その他収入	0	0	0
自己負担金	759,416	△ 562,929	196,487
合 計	1,462,416	△ 1,168,929	293,487

概算払	
概算払受入日	
概算払受入済額	0
精算払額	0

(支出)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
				対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	66,816	△ 61,248	5,568	5,568	5,568	0	0
旅 費	388,000	△ 321,071	66,929	66,929	66,929	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	100,000	△ 100,000	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	162,000	△ 162,000	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	107,800	△ 107,800	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	90,000	△ 90,000	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	319,800	△ 98,810	220,990	220,990	24,990	196,000	0
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0	0	0
コ ロ ナ 対 策 経 費	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	228,000	△ 228,000	0	0	0	0	0
合 計	1,462,416	△ 1,168,929	293,487	293,487	97,487	196,000	0

収 支 計 算 書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 事 業 細 目 名	スポーツ団体ガバナンス強化
事 業 名	ガバナンス強化事業

(収入)

(単位：円)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額
くじ助成金収入	720,000	△ 720,000	0
協賛金収入	0	0	0
入場料収入	0	0	0
参加料収入	0	0	0
補助金・委託金等収入	0	0	0
その他収入	0	0	0
自己負担金	490,000	△ 324,010	165,990
合 計	1,210,000	△ 1,044,010	165,990

概算払	
概算払受入日	0
概算払受入済額	0
精算払額	0

(支出)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
				対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	0	0	0	0	0	0	0
旅 費	0	0	0	0	0	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	1,210,000	△ 1,044,010	165,990	165,990	165,990	0	0
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0	0	0
コ ロ ナ 対 策 経 費	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,210,000	△ 1,044,010	165,990	165,990	165,990	0	0

2022年4月-6月

	JAF A事務局内部通報窓口	外部内部通報窓口(TMI)
2022年度通報件数	今期はなし、前期からの継続案件1件	1件(前四半期からの継続)
JAF Aとして取り上げた件数	今期はなし、前期からの継続案件1件	同上
取り上げ状況	<p>前四半期からの継続案件について倫理懲罰規程に基づき、調査委員会を立ち上げ、調査した弁護士への報告を踏まえ、取り扱いについて理事会に報告した。</p> <p>結果として、被調査者について処分をしないこととなった。</p>	<p>・前四半期に生じたパワーハラスメント問題につき調査を行い、コンプライアンス担当理事へ報告</p>
通報内容のジャンル	・パワーハラスメント	・パワーハラスメント
担当理事、外部弁護士 対応内容	<p>担当理事は、理事会の内容を弁護士に伝え、弁護士より通報者に報告することを指示した。</p>	<p>・北島隆次(JAF A顧問弁護士) コンプライアンス担当理事からの要請で本件の調査(関係者へのヒアリング)を行い、結果をコンプライアンス担当理事へ報告した。</p> <p>・理事会の結果、被調査者について処分をしないことを通報者に伝え当該案件は終了した。</p>

別記様式第11（第8条関係）

日ア第2022-10-11号

令和4年10月11日

独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長 殿

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

申請者名 会長 国吉 誠

令和4年度スポーツ振興くじ助成金に係る助成事業状況報告書

標記助成金について、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金交付要綱（平成15年度要綱第18号）第10条の規定により、関係資料を添えて報告します。

令和4年度タレント発掘・一貫指導育成事業 実施報告書 【スポーツ振興くじ助成事業】

標記に関し、タレント発掘・一貫指導育成事業（「JOCアスリートプログラム」又は「競技者育成プログラム」等に基づいて、優れた素質を有する競技者を発掘し、定期的・継続的に育成するための事業）を実施したので報告します。

1. 事業名 男子合同練習ラージプール（関西地区）

2. 事業内容

(1) 事業の実施場所(大会参加にあたっては国・都市名を記載) 淀川河川敷グラウンド

(2) 期間・日程 2022年9月25日 (1) 日間

月日(曜)	場 所	内 容
9/25 (日)	淀川河川敷グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、選手発掘・練習

(3) 目的

次期フラッグ世界大会に向けて、改めて参加募集を行い、新たな選手を発掘し強化することを目的とする。

国内において、フラッグフットボールがメジャーな競技として定着する。

(4) 成果

募集により、関西地区においては30名の参加があり選手の発掘の準備ができた。今後引き続き練習を重ね選手の収斂をしていく。

(5) 課 題

フラッグフットボールをメジャーなものとして、IF もオリンピックの競技種目採択を標榜しており、USA とも連携しフラッグフットボールのメジャー化を図っているが、国内では、学校のフラッグフットボール部も多いとは言えず、「国際大会へ出場」などのインセンティブにより、クラブ数を増やし競技人口拡大を図らなければならない。

収 支 計 算 書

タレント発掘・ 一貫指導育成事業No	13, 18, 35~73
団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 区 分	将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成
助成対象事業細目	タレント発掘・一貫指導育成
事 業 名	世界選抜育成キャンプ（フラッグフットボール）

(収入) (単位：円)

科 目	合計
くじ助成金収入	0
協賛金収入	0
入場料収入	0
参加料収入	9,042,131
補助金・委託金等収入	0
その他収入	0
自己負担金	12,660,422
合 計	21,702,553

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	1,118,685	648,714	648,714	0	469,971
旅 費	2,448,774	1,007,777	1,007,777	0	1,440,997
渡 航 費	11,552,200	11,552,200	11,552,200	0	0
滞 在 費	5,393,916	3,023,862	3,023,862	0	2,370,054
借 料 及 び 損 料	476,890	138,440	138,440	0	338,450
消 耗 品 費	103,935	0	0	0	103,935
ス ポ ー ツ 用 具 費	541,925	0	0	0	541,925
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	2,520	0	0	0	2,520
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	49,588	15,994	15,994	0	33,594
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0
保 険 料	165,120	0	0	0	165,120
コ ロ ナ 対 策 経 費	0	0	0	0	0
そ の 他	△ 151,000	0	0	0	△ 151,000
合 計	21,702,553	16,386,987	16,386,987	0	5,315,566

収 支 計 算 書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 事 業 細 目 名	スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ）
事 業 名	アメリカンフットボールアカデミー

(収入)

(単位：円)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額
くじ助成金収入	303,000	△ 303,000	0
協賛金収入	0	0	0
入場料収入	0	0	0
参加料収入	400,000	△ 163,000	237,000
補助金・委託金等収入	0	0	0
その他収入	0	0	0
自己負担金	759,416	△ 594,543	164,873
合 計	1,462,416	△ 1,060,543	401,873

概算払	
概算払受入日	
概算払受入済額	0
精算払額	0

(支出)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
				対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	66,816	△ 50,112	16,704	16,704	16,704	0	0
旅 費	388,000	△ 224,965	163,035	163,035	163,035	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	100,000	△ 100,000	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	162,000	△ 162,000	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	107,800	△ 107,800	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	90,000	△ 90,000	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	319,800	△ 97,666	222,134	222,134	26,134	196,000	0
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0	0	0
コ ロ ナ 対 策 経 費	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	228,000	△ 228,000	0	0	0	0	0
合 計	1,462,416	△ 1,060,543	401,873	401,873	205,873	196,000	0

収 支 計 算 書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 事 業 細 目 名	スポーツ団体ガバナンス強化
事 業 名	ガバナンス強化事業

(収入)

(単位：円)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額
くじ助成金収入	720,000	△ 720,000	0
協賛金収入	0	0	0
入場料収入	0	0	0
参加料収入	0	0	0
補助金・委託金等収入	0	0	0
その他収入	0	0	0
自己負担金	490,000	△ 158,020	331,980
合 計	1,210,000	△ 878,020	331,980

概算払	
概算払受入日	0
概算払受入済額	0
精算払額	0

(支出)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
				対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	0	0	0	0	0	0	0
旅 費	0	0	0	0	0	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	1,210,000	△ 878,020	331,980	331,980	331,980	0	0
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0	0	0
コ ロ ナ 対 策 経 費	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,210,000	△ 878,020	331,980	331,980	331,980	0	0

2022年7月-9月

	JAF A事務局内部通報窓口	外部内部通報窓口 (TMI)
2022年度通報件数	苦情、要望との電話が1件	1件(前、前々四半期からの継続)
JAF Aとして取り上げた件数	なし	同上
取り上げ状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大学のアメフト部から逮捕者が出る不祥事が発生し、当協会の倫理懲罰委員会への付議について検討 ・同事件について直接の通報ではないが、苦情、要望があり担当理事に報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・前々四半期に生じたパワーハラスメント問題につき、調査結果を通報者へ報告
通報内容のジャンル	<ul style="list-style-type: none"> ・性暴力 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーハラスメント
担当理事、外部弁護士 対応内容	<ul style="list-style-type: none"> ・当協会が独自に調査できる状況にないことや立件状況を見てから対応するべきとの判断を理事会に報告し確認された。 ・逐次、学連からの情報徴収する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北島隆次(JAF A顧問弁護士) 前四半期に実施した調査結果を受けての理事会決定につき、通報者に報告(前四半期に実施)後、再度通報者から問い合わせがあったので、その旨対応した。

別記様式第11（第8条関係）

日ア第2023-1-31号

令和5年1月31日

独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長 殿

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

申請者名 会長 国吉 誠

令和4年度スポーツ振興くじ助成金に係る助成事業状況報告書

標記助成金について、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金交付要綱（平成15年度要綱第18号）第10条の規定により、関係資料を添えて報告します。

令和4年度タレント発掘・一貫指導育成事業 実施報告書 【スポーツ振興くじ助成事業】

標記に関し、タレント発掘・一貫指導育成事業（「JOCアスリートプログラム」又は「競技者育成プログラム」等に基づいて、優れた素質を有する競技者を発掘し、定期的・継続的に育成するための事業）を実施したので報告します。

1. 事業名 男子及び女子、合同練習ラージプール（関西、関東地区）

2. 事業内容

(1) 事業の実施場所(大会参加にあたっては国・都市名を記載) 淀川河川敷、大宮グラウンド他

(2) 期間・日程 2022年10月10日から(13)日

月日(曜)	場 所	内 容
10/10 (月)	篠崎河川敷グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
10/23 (日)	淀川河川敷グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
10/30 (日)	大宮グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、女子選手発掘・練習
11/3 (木)	江戸川ラグビー場	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
11/23 (水)	淀川河川敷グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
11/27 (日)	大宮グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
11/5 (土)	逆瀬川グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、女子選手発掘・練習
11/20 (日)	箕面自由学園	次期フラッグ世界大会に向けた、女子選手発掘・練習
12/3 (土)	淀川河川敷グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、女子選手発掘・練習
12/18 (日)	大宮グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、女子選手発掘・練習
12/4 (日)	早稲田大学東伏見	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
12/17 (土)	早稲田大学東伏見	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
12/18 (日)	大宮グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習

(3) 目的

次期フラッグ世界大会に向けて、改めて参加募集を行い、新たな選手を発掘し強化することを目的とする。

国内において、フラッグフットボールがメジャーな競技として定着する。

(4) 成 果

募集により、関西地区においては 30 名の参加があり選手の発掘の準備ができた。今後引き続き練習を重ね選手の収斂をしていく。

(5) 課 題

フラッグフットボールをメジャーなものとして、IF もオリンピックの競技種目採択を標榜しており、USA とも連携しフラッグフットボールのメジャー化を図っているが、国内では、学校のフラッグフットボール部も多いとは言えず、「国際大会へ出場」などのインセンティブにより、クラブ数を増やし競技人口拡大を図らなければならない。

収 支 計 算 書

タレント発掘・ 一貫指導育成事業No	74～87
団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 区 分	将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成
助成対象事業細目	タレント発掘・一貫指導育成
事 業 名	世界選抜育成キャンプ（フラッグフットボール）

(収入) (単位：円)

科 目	合計
くじ助成金収入	0
協賛金収入	0
入場料収入	0
参加料収入	9,042,131
補助金・委託金等収入	0
その他収入	0
自己負担金	13,404,020
合 計	22,446,151

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	1,350,604	880,633	880,633	0	469,971
旅 費	2,829,505	1,388,508	1,388,508	0	1,440,997
渡 航 費	11,552,200	11,552,200	11,552,200	0	0
滞 在 費	5,393,916	3,023,862	3,023,862	0	2,370,054
借 料 及 び 損 料	581,670	243,220	243,220	0	338,450
消 耗 品 費	111,497	0	0	0	111,497
ス ポ ー ツ 用 具 費	541,925	0	0	0	541,925
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	3,460	0	0	0	3,460
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	67,254	33,176	33,176	0	34,078
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0
保 険 料	165,120	0	0	0	165,120
コ ロ ナ 対 策 経 費	0	0	0	0	0
そ の 他	△ 151,000	0	0	0	△ 151,000
合 計	22,446,151	17,121,599	17,121,599	0	5,324,552

別記様式第11（第8条関係）

日ア第2023-2-28号

令和5年2月28日

独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長 殿

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

申請者名 会長 国吉 誠

令和4年度スポーツ振興くじ助成金に係る助成事業状況報告書

標記助成金について、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金交付要綱（平成15年度要綱第18号）第10条の規定により、関係資料を添えて報告します。

令和4年度タレント発掘・一貫指導育成事業 実施報告書 【スポーツ振興くじ助成事業】

標記に関し、タレント発掘・一貫指導育成事業（「JOCアスリートプログラム」又は「競技者育成プログラム」等に基づいて、優れた素質を有する競技者を発掘し、定期的・継続的に育成するための事業）を実施したので報告します。

1. 事業名 男子及び女子、合同練習ラージプール（関西、関東地区）

2. 事業内容

(1) 事業の実施場所(大会参加にあたっては国・都市名を記載) 淀川河川敷、大宮グラウンド他

(2) 期間・日程 2022年12月4日から(7)日（一部10月～12月の報告が入っている）

月日(曜)	場 所	内 容
12/4 (日)	早稲田大学東伏見	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
12/17 (土)	早稲田大学東伏見	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
12/18 (日)	大宮グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
1/9 (月)	淀川河川敷グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
1/15 (日)	大宮グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、男子選手発掘・練習
1/15 (日)	大宮グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、女子選手発掘・練習
1/21 (土)	淀川河川敷グラウンド	次期フラッグ世界大会に向けた、女子選手発掘・練習

(3) 目的

次期フラッグ世界大会に向けて、改めて参加募集を行い、新たな選手を発掘し強化することを目的とする。

国内において、フラッグフットボールがメジャーな競技として定着する。

(4) 成 果

募集により、関西、関東地区において、多数の選手の参加があり（最大で 47 名）の参加があり選手の発掘の準備ができた。今後引き続き練習を重ね選手の収斂をしていく。

(5) 課 題

フラッグフットボールをメジャーなものとして、IF もオリンピックの競技種目採択を標榜しており、USA とも連携しフラッグフットボールのメジャー化を図っているが、国内では、学校のフラッグフットボール部も多いとは言えず、「国際大会へ出場」などのインセンティブにより、クラブ数を増やし競技人口拡大を図らなければならない。

収 支 計 算 書

タレント発掘・ 一貫指導育成事業No	85~91
団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 区 分	将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成
助成対象事業細目	タレント発掘・一貫指導育成
事 業 名	世界選抜育成キャンプ（フラッグフットボール）

(収入) (単位：円)

科 目	合計
くじ助成金収入	0
協賛金収入	0
入場料収入	0
参加料収入	9,042,131
補助金・委託金等収入	0
その他収入	0
自己負担金	13,814,163
合 計	22,856,294

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	1,471,992	1,002,021	1,002,021	0	469,971
旅 費	3,044,320	1,602,631	1,602,631	0	1,441,689
渡 航 費	11,552,200	11,552,200	11,552,200	0	0
滞 在 費	5,393,916	3,023,862	3,023,862	0	2,370,054
借 料 及 び 損 料	649,230	306,580	306,580	0	342,650
消 耗 品 費	111,497	0	0	0	111,497
ス ポ ー ツ 用 具 費	541,925	0	0	0	541,925
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	3,460	0	0	0	3,460
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	73,634	39,556	39,556	0	34,078
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0
保 険 料	165,120	0	0	0	165,120
コ ロ ナ 対 策 経 費	0	0	0	0	0
そ の 他	△ 151,000	0	0	0	△ 151,000
合 計	22,856,294	17,526,850	17,526,850	0	5,329,444